

取扱説明書

FNS-2002用
RS-232C光モジュールキット
MODEL 07-00018A

株式会社 ノイズ研究所

お断り

- 本書の内容は予告なく変更されることがあります。
- 株式会社ノイズ研究所の許可なしに、いかなる方法においても本書の複写、転載を禁じます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、[ご購入元](#)までご連絡ください。
- 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、ノイズ研究所及びノイズ研究所指定の者以外の第三者によって修理、変更されたこと等に起因して生じた障害や損害等につきましては、[一切](#)の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本体を変更したり、改造をした結果、障害や損害が発生した場合[一切](#)の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- Microsoft®は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
Windows®は Microsoft Corporation の商標です。

本書内で、上記記載以外の商標や会社名が使用されている場合があります。これらの商標や会社名は、株式会社ノイズ研究所に所属するものではありません。

- 安全保障輸出管理制度 ～当社製品の輸出についてのお願い～

本製品は、輸出貿易管理令別表第一第 1～15 項までには該当しておりませんが、第 16 項のキャッチ・オール規制対象貨物に該当します。よって、当社製品を海外へ輸出、または一時的に持ち出す場合には最終需要者・最終用途等の確認審査をおこなう為、事前に当社へ輸出連絡書の提出をお願いしております。記載内容につきましては、お客様を信頼し、輸出連絡書に記載の最終仕向け国・最終需要者・最終用途等をもって、輸出貿易管理令別表第一第 16 項規制の確認をさせていただきます。

輸出規制の法律を厳守する為、輸出連絡書の提出を必ずお願い致します。また、国内外の取引先に転売する場合は、転売先に上記内容についてご通知をお願い致します。

- ※ 上記内容は法令に基づいておりますので、法令の改正等により変更される場合があります。法令の規制内容・輸出手続等についての詳細は政府機関の窓口（経済産業省 貿易経済協力局 貿易管理部 安全保障貿易管理課等）へお問い合わせください。

1. 重要安全事項

次に挙げる各事項は、本器を安全に取り扱う上で重要な事項ですので、よくお読みになってからご使用ください。

- 1. 本製品を電子機器へ取付ける際は、必ず電子機器の駆動電源がオフの状態でおこなってください。**
- 2. 後述の「本器を安全にお使い頂くための基本的安全事項」に、安全に関する勧告が列記されています。また、試験器本体の取扱説明書に安全に関する事項が記載されています。試験環境設定、接続および試験の開始前に必ずお読みください。**

２．取扱説明書 購入申込書

購入元経由 株式会社ノイズ研究所 御中

取扱説明書の購入を申し込みます。

モデル名は

07-00018A

です。

申込者：住所； 〒

会社名；

部署名；

担当者名；

電話番号；

FAX 番号；

この取扱説明書 購入申込書は、万一の紛失に備えて
切り離し、別途 **大切に保管してください。**

取扱説明書が御必要の折には、この取扱説明書購入申込書をご購入元まで、
郵送または FAX で御送りください。

3. 目次

1. 重要安全事項	1
2. 取扱説明書 購入申込書	3
3. 目次	5
4. まえがき	6
5. 本器を安全にお使い頂くための基本的注意事項	7
6. 製品構成	9
7. 機器の接続	9
7-1. FNS-2002との接続.....	9
7-2. パーソナルコンピュータとの接続.....	10
8. 使用方法	10
9. 仕様	11
10. 保証	12
11. 保守・保全	14
12. 故障したときの連絡先	15

4. まえがき

このたびは FNS-2002 用 RS-232C 光モジュールキット (07-00018A)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。 本器をお使いになる前に本書をよく読んで頂き、充分ご活用くださるようお願い申し上げます。また、安全と手順を確実にする為に、ファスト・トランジェント/バースト試験器の取扱説明書も充分お読みください。

- この取扱説明書は、操作方法と注意事項を遵守できる方々が、RS-232C 光モジュールキット 07-00018A を安全に取り扱い、かつ充分にご活用頂けるように書かれています。
- この取扱説明書は、FNS-2002 用 RS-232C 光モジュールキットを取り扱う時いつでも取り出せる所に置いてください。

§ 特徴

1. ファスト・トランジェント／バースト試験器：FNS-2002 を、RS-232C を介してリモートコントロールすることが出来ます。
2. 光変換アダプタを使用したインターフェイスのため、EMCの影響を受けにくい安定した通信をおこなうことができます。また、パーソナルコンピュータをシールドルーム外で操作することが可能なため、安全に試験を行なうことができます。
3. 外部電源を必要としない電源レスタイプ光アダプタを使用しておりますので、接続が簡単におこなえます

5. 本器を安全にお使い頂くための基本的注意事項

1. 危険告知のサインと意味



WARNING 警告

警告を表します。

回避されなければ、**死亡**または**重傷**を生じる事が有り得る**潜在的な危険状態**になります。



CAUTION 注意

注意を表します。

回避されなければ、**軽傷**または**中程度の障害**が発生するかもしれない**潜在的な危険状態**になります。

2. 基本的な安全注意事項



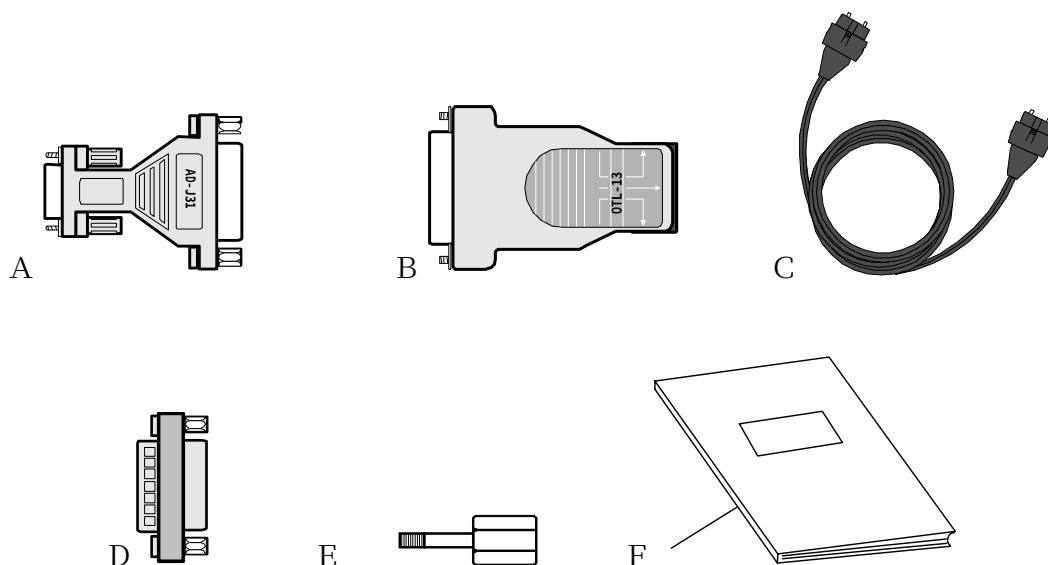
WARNING 警告

1. 本器は、FNS-2002と組み合わせて使用します。FNS-2002は、高電圧（4800V MAX）を発生可能な機器のため、取扱には充分注意してください。誤った操作や不注意な操作をおこなうと致命傷になります。【人体、及び環境に関する注意事項】
2. 当社と、関係する販売代理店は、本器の無責任な操作による人身事故や器物の破損、或はそれらの結果、更に発生する如何なる損害に対しても一切責任を負いません。【人体、操作、環境、及び接続に関する注意事項】
3. 本製品を使用し、FNS-2002を動作させている場合には、決して機器の監視を解かないでください。FNS-2002本体から離れる時は、リモート制御のコントロールソフトを停止していることを確認の上、離れてください。第三者や試験関連設備に危険が及ぶことがあります。【人体、操作、及び環境に関する注意事項】
4. 本製品を電子機器へ取付ける際は、必ず電子機器（FNS-2002やパソコン）の駆動電源がオフのときにおこなってください。【接続に関する注意事項】



5. ケーブル等の設定や接続を間違えないでください。高電圧に感電したり、本製品内部や接続した機器等が破損することがあります。【人体、操作、及び環境に関する注意事項】
6. 光ファイバケーブルを外し、光アダプタを取付けた状態で F N S - 2 0 0 2 を使用しないでください。外光の影響で誤動作を起こす可能性があります。【人体、及び接続に関する注意事項】
7. 光ファイバケーブルは鋭角な曲げ、外からの圧力に対して性能が低下するおそれがありますので、取扱いには注意してください。また、光ファイバケーブル端面に異物が付着せね様注意してください。【取扱いに関する注意事項】
8. 本器をシンナー等の溶剤で拭かないでください。外装の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を少量含ませて軽く拭いてください。【取扱に関する注意事項】
9. R S - 2 3 2 C インターフェイス用光アダプタ、光ファイバコネクタに強い衝撃を与えないでください。【取扱に関する注意事項】
10. 確実に安全な操作をする為には、当社の添付品, オプションを使用してください。【その他の注意事項】
11. 本器は湿度 2 5 % から 7 5 % の範囲でご使用ください。万一、結露があった場合には、本器を動作させる前に十分に乾燥させてください。また、ほこりの多い処で本器のご使用は避けてください。【環境に関する注意事項】
12. 高温または低温の環境での使用および保管はしないでください。
(使用温度範囲：1 5 ～ 3 5 °C / 保管温度範囲：- 5 ～ 5 5 °C) 【環境に関する注意事項】

6．製品構成

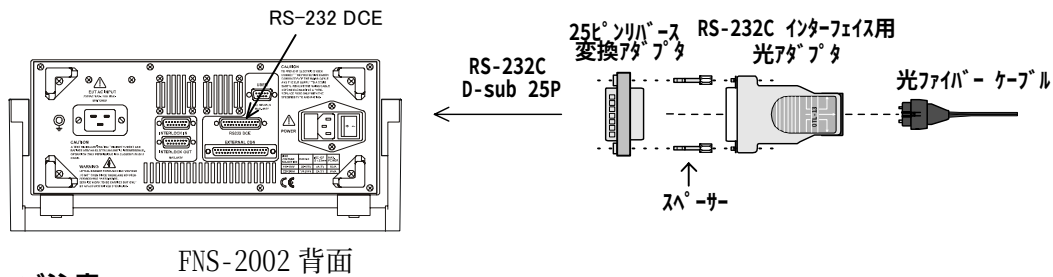


	名称	数量
A	25 ピン-9 ピン変換アダプタ (AD-J31)	1 個
B	RS-232C インターフェイス用光アダプタ (OTL-13)	2 個
C	光ファイバーケーブル (5m)	1 本
D	25 ピンリバース変換アダプタ	1 個
E	スペーサー(ミリインチネジ)	2 個
F	取扱説明書	1 冊

7．機器の接続

7-1. FNS-2002との接続

- ① FNS-2002 本体の電源が切れている事を確認します。
- ② 光ファイバーケーブルを RS-232C インターフェイス用光アダプタに接続します。
カチッと音になるまで差し込みます。(RS-232C インターフェイス用光アダプタはどちらを使用してもかまいません。)
- ③ 25 ピンリバース変換アダプタを FNS-2002 本体背面にある、RS-232 DCE コネクタ (D-sub25 π ソ) へ接続します。この時、25 ピンリバース変換アダプタに付いているスペーサーを、ネジをゆるめる方向に回して取り外し、本製品の添付品のスペーサーを回して取付け、FNS-2002 へ固定します。
- ④ RS-232C インターフェイス用光アダプタを③で取り付けた 25 ピンリバース変換アダプタへ接続します。RS-232C インターフェイス用光アダプタとスペーサーはドライバーで固定してください。

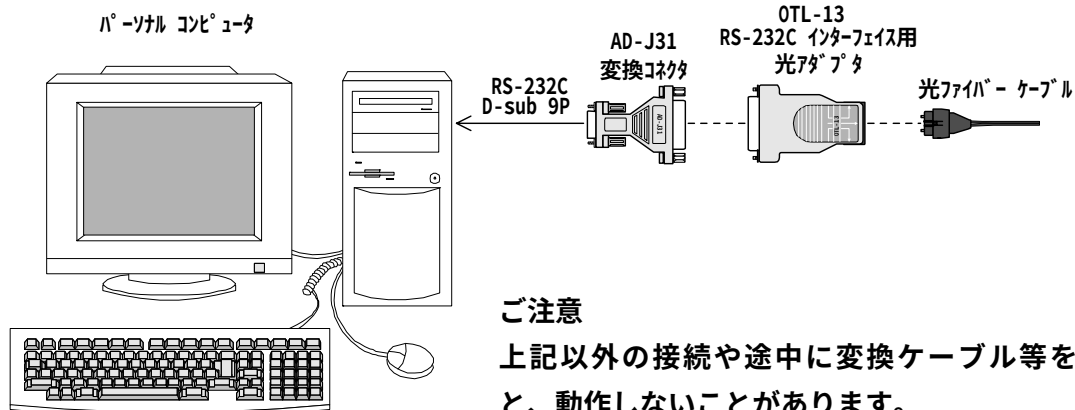


ご注意

光ファイバケーブルを外した状態で光アダプタをFNS-2002に取り付け、試験をしないでください。外光により誤動作を起こす場合があります。

7-2. パーソナルコンピュータとの接続

- ① パーソナルコンピュータの電源が切れている事を確認します。
- ② 光ファイバケーブルの反対側を RS-232C インターフェイス用光アダプタに同様に接続します。カチッと音になるまで差し込みます。
- ③ RS-232C インターフェイス用光アダプタと 25 ピン-9 ピン変換コネクタを接続し、ネジで固定します。
- ④ 25 ピン-9 ピン変換コネクタをパーソナルコンピュータの RS-232C コネクタに接続し、ロックねじで固定します。



8. 使用方法

パーソナルコンピュータ及び FNS-2002 本体の電源スイッチを投入します。
制御ソフトは Windows®ベースソフトウェア WIN-FNS-2002(オプション)を使用します。
各機器の操作については取扱説明書をご覧ください。

9. 仕様

項目	仕様／性能	備考
RS-232C インターフェイス用光アダプタ	インターフェイス /RS-232C (リバース) 入出力コネクタ /D-Sub25P 伝送速度 /300～38,400(bps)	外形:55(W)×21(H)×87(D) 重量:80(g) ※1
光ファイバケーブル	長さ 5m	
適合コネクタ (PC側)	D-Sub 9ピン オス DTE	本書の組合せ状態での仕様
適合コネクタ (機器側)	D-Sub 25ピン メス DCE	本書の組合せ状態での仕様

※1… 光アダプタの電源は、接続する機器のRS-232Cの信号ラインにより供給されます。

10. 保証

保証規定

この保証規定は当社製品について、所定の機能・性能を維持させるための修理サービスを保証するための規定です。

1. 保証機器の範囲

当社の製品および添付品に適用させていただきます。

2. 技術・作業料金

当社製品に万一障害が発生した場合は、無償保証期間内であれば無償保証規定に基づき無償で修理サービスをさせていただきます。無償保証期間が切れている場合は、修理にかかる技術・作業に関し実費をご負担頂きます。

3. 交換部品の所有権

修理サービスの履行に伴って交換されたすべての不良部品の所有権は、当社に帰属するものと致します。有償修理に関しては、特にお申し出がなければ、交換した不良部品は当社が持ち帰り処理致します。

4. 責任限度額

万一、お客様が購入された当社製品の故障または修理サービスにより、お客様に損害が生じた場合には、その損害が当社の故意または過失による場合に限り、お客様が当該当社製品の購入に際してお支払いになった金額を上限として、当社はおお客様に対して、損害賠償責任を負うものとさせていただきます。ただし、いかなる場合にも、当該当社製品の故障または当社が提供させて頂いた前記修理サービスにより、お客様に生じた損害のうち、直接または間接に発生する可能性のある逸失利益、第三者からお客様に対してなされた賠償責任に基づく損害、および間接損害については、当社は責任を負わないものと致します。

5. 誤品・欠品・破損について

万一、お客様が購入された当社製品に、誤品、欠品、破損が発生した際にその製品が使用できないことについて、お客様に生じた損害のうち逸失利益、営業損害、その他の派生的損害、特別損害、間接的または懲罰的な損害に対する責任、または第三者からお客様に対してなされた賠償責任に基づく損害について、当社は責任を一切負わないものと致します。

6. 修理辞退について

下記の場合は修理を辞退させて頂くことがあります。

- ・ 生産終了後、5年以上を経過した当社製品
- ・ 納入後、満8年以上経過した当社製品
- ・ 当社特注製品で修理部品に製造中止品があり代替品がない場合
- ・ 当社の関与なく機器の変更、修理、または改造がおこなわれた当社製品
- ・ 原型を保てない当社製品

無償保証規定

無償保証期間内での故障については、無料で修理をするか交換を致します。その場合、機器の修理内容の決定については当社にお任せください。なお、この無償保証規定は日本国内でのみ適用させていただきます。

1. 適用機器

当社の製品および添付品に適用させていただきます。

2. 無償保証期間

納入日から起算して1年間とします。

修理した箇所については、同一箇所・同一不具合の場合の無償保証期間は修理完了から6ヶ月間とします。

3. 除外項目

上述にかかわらず、発生した障害が以下のいずれかに該当する場合は無償での修理サービスの対象外とさせていただきます。

- ✧ 高電圧リレー（使用製品の場合）を含む消耗品の交換
- ✧ 取扱上の不注意により発生した故障、または損傷に起因する当社製品の不良
- ✧ 当社の関与しない改造により生じた故障や損傷に起因する当社製品の不良
- ✧ 当社に認定されていない方が修理をした事により発生した故障または損傷に起因する当社製品の不良
- ✧ 直接的または間接的に天災、戦争、暴動、内乱、その他不可抗力を原因とする故障、または損傷に起因する当社製品の不良
- ✧ 納品後、輸送や振動、落下、衝撃などを原因とする故障、または損傷に起因する当社製品の不良
- ✧ 使用環境を原因とする故障、または損傷に起因する当社製品の不良
- ✧ ユーザーが国外に持ち出した場合

1 1. 保守・保全

1. 修理や保守作業、内部の調整が必要な場合には、適当な資格を持ったサービス・エンジニアのみがそれを実施します。
2. ユーザー自身による保守作業は、外面の掃除と機能チェックに限定してください。
3. ヒューズが交換できる製品において、点検、交換の際には本器とその接続機器の電源スイッチ（ある場合）を OFF にし、電源供給の接続を外してください。
4. 清掃する前には、本器とその接続機器の電源スイッチ（ある場合）を OFF にし、電源供給の接続を外してください。
5. 外装の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を少量含ませて軽く拭いてください。
6. 指定された以外の本器のカバーは開けないでください。

12. 故障したときの連絡先

- 故障と思われる症状が現れた場合は、症状、モデル名、製造番号をお調べ頂き、ご購入元またはテクニカル・サービス・センターまでご連絡ください。
- 製品をご返送頂く場合は、修理依頼書に故障の状況・症状や依頼内容を詳述した上で、モデル名、製造番号をお調べ頂き、機器全体を元の梱包、または輸送に適した同等の梱包物にてお送りください。

☐ テクニカル・サービス・センター

TEL (0088)25-3939(フリーコール) / (042)712-2021

FAX (042)712-2020

